

事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第1年度分

1 事業者の概要

事業者の名称	観光第一交通株式会社		
市内代表事業所の名称	観光第一交通株式会社		
市内代表事業所の所在地	仙台市若林区卸町東1丁目1-56		
主たる事業	道路旅客運送業		
事業者の該当要件		条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	○	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	当社は、地球環境の保全に貢献するため、以下の基本方針に基づきエネルギー使用量等の削減に努めます。 1.事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全に取り組めます。 2.事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。 3.環境保全に関する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2022 年度	基準排出量	3,195 t-CO ₂	基準原単位	544.5
	目標年度	2025 年度	目標排出量	3,035 t-CO ₂	目標原単位	523
			削減率	5.00 %	削減率	3.94 %
			非化石エネルギー自動車割合			0.01 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023 年度	排出量	2,753 t-CO ₂	排出原単位	417.1
			削減率	13.83 %	削減率	23.39 %
			非化石エネルギー自動車割合			1.00 %
	排出量等の増減理由	乗務員の高齢化等に伴う、稼働台数の減少や稼働時間短縮による要因が大きい				
	第2年度	2024 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石エネルギー自動車割合			%
	排出量等の増減理由					
	第3年度	2025 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
			非化石エネルギー自動車割合			%
	排出量等の増減理由					

様式第2号別紙1

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	92 %	目標年度	100 %
	第1年度	92 %	実施状況の説明等	第1年度に電気自動車のリーフを導入したことやJPNタクシーへの切り替えを当初の計画よりハイペースで実施したことにより、社員の省エネやカーボンニュートラルに対する意識も向上させることができた。
	第2年度	%	実施状況の説明等	
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	情報共有体制の整備	一部実施済
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	一部実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	未実施
	環境性能の良い車両の計画的導入	実施済
	燃費向上のための装置等の計画的導入	実施済
	エコドライブの管理	一部実施済
	維持管理に関する教育	一部実施済
	モーダルシフトの推進	一部実施済
	搬出入車両のエコカー導入誘導	一部実施済
	関係者への普及啓発	一部実施済
	事業者連携による効率的な輸送推進	一部実施済
	最適運行ルート選択	実施済
	効率的な自動車運用のためのシステム導入	実施済
	効率的なルート選定	実施済
	空調設定温度の管理	実施済

その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	環境にやさしい運転・サービスを提供し、環境にやさしい企業であることを実践する	実施済
	廃棄物削減対策の実施	事業系一般廃棄物減量化の取り組みを行う	実施済
	ヒートアイランド対策の実施	ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車等の環境性能の優れた車両を計画的に導入している	実施済
	グリーン調達の実施	環境負荷の少ない製商品・サービスや環境配慮等に積極的に取り組んでいる	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	新しいエコに関する情報収集に努め、環境改善につながることを実践する	実施済
	森林の保全・緑化の推進	周辺環境に配慮した植栽や緑地の整備など	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	省エネ目標数値を設定し、監視評価する	未実施
	カーボンオフセットの実施	CO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力をしている	実施済
	環境教育・学習の実施（従業員以外を対象にしたもの）	取引先や従業員の家族に向けて省エネ推進の情報を情宣してゆく	実施済
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	自転車等による通勤の促進	実施済